

東日本大震災から1年半が過ぎようとしています。全国の皆様からは、変わらぬご支援と暖かい応援をいただきありがとうございます。 (公財) 福島県国際交流協会では、震災当初より、当協会広報紙「ジャイロ」の震災復興版「がんばろう 福島」を発行し、福島県の現状や復興に向けた国際交流・協力団体や在住外国人の活動等を紹介しています。

※本紙の翻訳版は、当協会 HP からダウンロードできます。



福島の風物



「相馬野馬追」が本格的に復活
(南相馬市 2012.7.29 撮影)

相馬氏の遠祖である平将門の軍事訓練が由来とされる伝統の祭り「相馬野馬追」。昨年は規模を縮小せざるを得ませんでしたが、今年は、「亡くなった人たち、馬のためにも伝統を絶やすまい」と関係者の努力が実を結び、本格的に復活しました。



進む除染モデル実証事業
(飯舘村 2012.8.2 撮影)

全村避難を余儀なくされた飯舘村では、国による農地の除染モデル実証事業が進められています。今年の5月から6月に村が行ったアンケートでは、避難している村民のおよそ6割が帰村を望んでいます。一日も早い除染方法の確立が望まれています。



福島七夕まつり
(福島市 2012.8.7 撮影)

夏を彩る「七夕まつり」。色鮮やかな吹き流しが風にたなびき、その合間を夏休みということもあり多くの親子づれが涼しげに歩いていました。短冊飾りには、願い事や一日も早い復興を願う言葉などが書かれていました。



福島に暮らす人々の声

原田アヤ子さん (福島市 ブラジル出身女性)

震災の時は、丁度岐阜県に出かけていて、自宅に高校生の娘一人を残していました。なかなか連絡が取れずそれはそれは心配でした。娘は幸いにもブラジル大使館が準備した避難バスに乗車でき、約1週間後でしたでしょうか？静岡で会うことができました。今では、子どもは普通に学校に行き友だちと遊んでいますし、私も普通に仕事に行っています。これからも、ここで普段通りに暮らしていこうと考えています。福島に暮らして20年。福島は私の故郷です。皆さん、福島にはいい所がたくさんあります。是非福島に来てください。

鈴木孝二さん (須賀川市 男性)

私は、地震による家の崩壊や津波、原発事故による避難といった直接的被害はありませんでした。仕事は製造業ですが、震災の影響は軽度で済み、そして放射線についても震災時は別として、今ではあまり気にもせず震災前と変わらない食生活をしています。しかし、ある友人女性は生まれたばかりの子どもと県外に避難し、夫は福島に残ったため離れて暮らすことになりました。放射線への不安の度合いは、本当に人によってまちまちです。それが夫婦間、親子間、友人間の絆に影響しないことを願うばかりです。震災から1年半が過ぎようとしている今、自分自身は日常に深刻な障害が起きていないことを幸運に思います。



外国出身者の復興活動レポート



朴今錫 (パククムソク) さん、姜ハナ (カンハナ) さんご夫妻 (韓国出身 ヨハン郡山基督教会)

震災当時は、石巻などでがれき撤去や炊き出しを行いました。現在は、教会近くの仮設住宅に伺って、支援物資を配ったり、コンサートや介護予防体操をしたり、チヂミを焼いて一緒に食べたりと、ささやかな活動ですが継続して行っています。被災された方々が独りになった時に、自分は何のために生きているのかを考える刺激となるようなお話を分かち合うことができればと考えています。



外国出身者からの投稿



赵宇浩さん（ジャオユイハオ）さん（福島市 中国出身）

福島市花火大会

和朋友一起观看大震災之后的第一次花火大会，第一次看到了一些很独特很漂亮的礼花。看到有这么多人来观看花火大会，想来福岛的朋友们已经走出了大震災的阴影了。希望复兴以后的福岛有更多这样热闹的活动。

（訳文） 福島市の花火大会

先日、友達と花火大会を見に行きました。独特な美しさを持つ花火を見るのは初めてです。大勢の観客でにぎわう会場の様子を見て、福島の皆さんが大震災から立ち直っていると感じました。復興に向け、がんばっている福島には、このような元気のイベントをもっともっと開催してほしいです。



アメリカ教員 4 名来福する

Japan Society (日米協会) 主催の教員日本研修で来日したアメリカの先生方 4 名が、7 月 18 日～19 日に福島県を訪れました。今回の視察の目的は、福島県における原発事故の影響と県民の皆さんがそれからどう立ち直ろうとしているのかを直接見聞きすることです。

先生方は、県内の様々な立場の人たちと意見交換することで、原発事故後の様々な影響を肌で感じる事ができたと考えています。今後はそれぞれの学校へ戻り、福島で見たことや感じたことを生徒たちに伝えてくださることを期待しています。



梨農家で風評被害について見聞



原釜漁港で津波被害を視察



被災地の保育園児にお遊戯を披露



福島県内各地の環境放射能測定値（暫定値）（福島県 HP から抜粋）

福島県 HP では、県内各地の環境放射能測定値（暫定値）を日本語、英語、中国語で、県国際交流協会 HP では、それらに加え、タガログ語、韓国語、ポルトガル語で随時更新しています。

<http://www.worldvillage.org/>

単位：マイクロシーベルト/時間

日時	福島市	郡山市	白河市	会津若松市	南会津町	南相馬市	いわき市
(平常値)	0.04	0.04-0.06	0.04-0.05	0.04-0.05	0.02-0.04	0.05	0.05-0.06
2012.8.15 9:00	0.68	0.52	0.22	0.10	0.06	0.40	0.10
測定装置	可搬型 MP	可搬型 MP	可搬型 MP	可搬型 MP	可搬型 MP	可搬型 MP	固定型 MP
福島第一原発からの方向及び距離	北西 約 63km	西 約 58km	西南西 約 81km	西 約 98km	西南西 約 115km	北 約 24km	南南西 約 43km

※測定地点は、福島市は県北保健福祉事務所北側駐車場、郡山市は郡山合同庁舎南側駐車場、その他の市町は各合同庁舎の駐車場です。
※平常値は、平成 21 年度放射線レベル調査結果です。



お知らせ

○外国語による地震情報センター

当協会では、英語と中国語で、震災に関わる様々な相談に応じています。

時間：火曜日～土曜日 9時～17時

電話：024-524-1316(専用)

E-mail：ask@worldvillage.org (専用)

発行者

(公財) 福島県国際交流協会

〒960-8103 福島県福島市舟場町 2-1

☎024-524-1315 FAX 024-521-8308

E-mail info@worldvillage.org

URL <http://www.worldvillage.org>